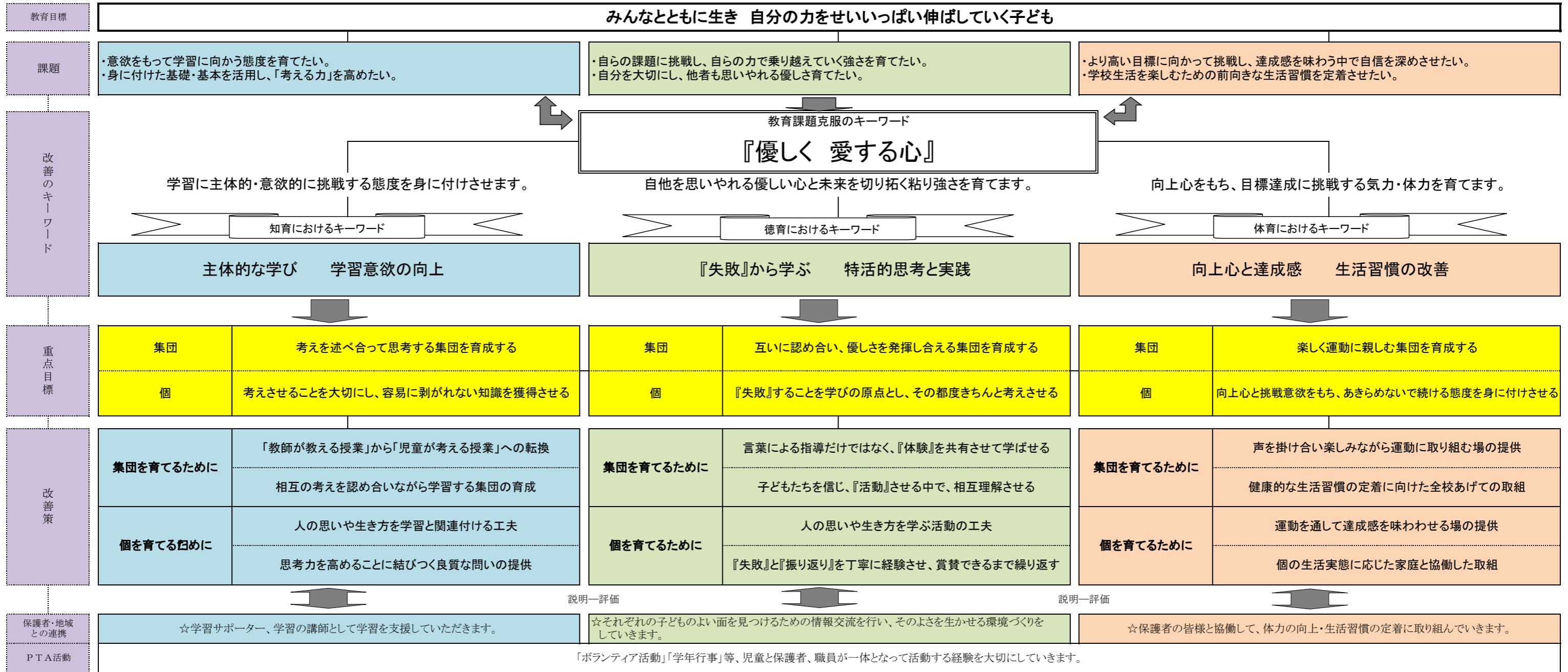


令和4年度 新発田市立御免町小学校グランドデザイン



学校評価	成果	集団 自他の学びを調整しながら、考えを述べ合って思考することができる児童の割合を80%以上にする。 個 学年に応じた思考力を発揮させる問題を複数回実施し、県や国等の結果をもとにした期待正答率に対する平均正答率の割合が向上する学級を80%以上にする。	集団 友だちの行いや思いに目を向け、支えようとする学級の児童の割合を80%以上にする。 個 「失敗しても成長するためがんばろうとしている」と、自分を肯定的に捉えている児童の割合を80%以上にする。	集団 運動に親しみ、達成感や技能の伸びを実感している児童の割合を80%以上にする。 個 生活習慣改善のために目標を自分で決め、あきらめないで続けることのできた児童を80%以上にする。
	教育活動	集団 自他の学びを調整しながら主体的に学ぶ姿を引き出す授業を、月に2回以上行う。 個 学年に応じた思考力を発揮させる問題の分析結果を生かした授業を月1回以上行う。	集団 児童が主体となる「特活的思考」に基づいた「活動」を学期に1回以上行う。 個 活動を進める中で、自分の行いを振り返るとともに、他者から肯定的なフィードバックを受け取る場面を意図的に設ける。	集団 学期に1単元以上、運動に親しみながら達成感を味わわせる場の設定を行う。 個 生活習慣の改善について目標を決めて挑戦する「さわやか生活ウィーク」を年2回設定し、行う。
	運営活動	集団 自他の学びを調整しながら考えを述べ合って思考することのできる授業づくりについての研修会を年間に3回以上行う。 個 学年に応じた思考力を発揮させる問題の、意図や指導改善のポイントについての分析を月に1回以上行う。	集団 児童が主体となる学級経営や特別活動についての研修会を学期に1回以上設定し、行う。 個 人の思いや生き方を学ぶ活動（NIE、特別活動、総合的な学習の時間等）についての実践事例を共有する。	集団 児童が運動に親しみ、達成感を味わいながら運動に取り組む場についての実践事例を共有する。 個 生活習慣の改善に向け、目標を自己決定させる手法についての研修を行う。